

ぶちが 議会だより

第 95 号 2016. 3. 31

『子ども議会の選挙開票作業』

子ども議会開催・・・・・・・・・・ 2

子ども園の保育料が無料に・ 6
平成 28 年度予算を可決

一般質問 4 人登壇・・・・・・・・・・ 16

議会だよりが受賞・・・・・・・・・・ 23

編 集 小値賀町議会 広報常任委員会
発行責任者 小値賀町議会議長
電 話 0959-56-3111

3 3
川 本



育て自治意識

恒例の子ども議会開催

将来的に主権者としての意識や政治参加への芽を育て、ひいては民主主義の発展に寄与することを目的に開催しております

昨年、選挙権の年齢が18歳に引き下げられました。

これを受けて、早い時期から身近な地方自治や民意の集約の仕組みについて関心を持ってもらおうと、2月8日、議長・副議長の選挙などを取り入れた子ども議会を開催しました。

事前の2月4日のリハーサルにおいては、仮の議案「子どもの挨拶条例案」の議会への提出と可決に至る過程を模擬体験してもらいました。

基本的なルールは一般の選挙につながるので、議長・副議長選挙から始まる一連の議会の流れの体験により、自治意識、当事者意識の芽を育てることになったのではないかと思います。

一般質問では、子どもの視点からの質問や日頃の疑問などが町長に向けられました。

町長に聞きたい町政のこと

小値賀小学校6年生14人緊張の中でものびのびと質問



2月8日午前10時、14人の子も議員の中で誕生日が一番早い博多屋心さんが仮議長となつて議長席に座りました。

「只今より議長及び副議長の選挙を行います。」議長の宣言と説明に従い、開票立会人の指名のあと、投票箱をあらため、投票が始まりました。

全員が投票したのを確認し、立会人のもとで、開票作業が行われ、その結果、遠山彩香さんが議長に選出されました。仮議長と交代し、議長席に着いた遠山議長は、「副議長選挙は指名推選

にしたいと思いますが、異議ありませんか。」と全員にはかり、伊藤麻莉奈さんを副議長に指名しました。

これで、議会の態勢は整いました。「これより一般質問を行います。質問の通告がありましたので、順次発言を許します。一番伊藤麻莉奈議員」

伊藤議員は中央の質問席に立ち、「金曜日の夕方に小値賀から佐世保に向かう九州商船のフェリーを運航することがで



本会議場での議長選挙の投票

ここで、議長を交代し、伊藤麻莉奈副議長が議長席に着きました。続いて崎元愛琴議員は、「横断歩道の白線の引き直しなど道路の整備について」、出口聡士議員は、「海水浴場の整備と案内板について」、西菜摘子議員は、「交通安全の取り組みについて」、

博多屋心議員は、「プラスチックごみの収集回数を増やすことについて」、遠山彩香議員は「観光スポットの整備について」、川原千尋議員は「海を利用した新しい観光について」、最後は、門脇衣純議員で、「小値賀の街灯と歩道について」質問しました。

西町長もそれぞれの質問に対して丁寧に答弁していました。

横断歩道の白線の引き直しなど、その中のいくつかは、具体的に実施されることになっていきます。

子ども議会の議事録は議会のホームページにてご覧いただけます。



議員席に着く子どもたち

【橋本望美】



議場で話し合うのは初めてで、議会などにはあまり興味はなかったけど、体験してみて大変さなどを知ることができて良かったです。そして、議会に興味を持ちました。

【門脇衣純】



議場に入ると、たくさんの課長さんたちがいたので、とても緊張しました。自分の思いを町長さんにお尋ねできたので、ホッとしました。

【松田ゆずは】



小値賀町の今まで知らなかった取り組みなどを知る事ができました。町長さんに質問するのは、少し緊張しましたが、この経験を活かし、これから政治について考えていきたいと思います。

【西 茉莉子】



議員の方々は、小値賀の事をしっかり考えてくださっているんだと感じました。私は、小値賀にはこういうことが必要などと考えながら、生活していきたいです。

【川本健斗】



小値賀の議会のやり方や議会の大切さを学び、良い経験になりました。いろいろな事が、議会で決められていたので、とてもびっくりしました。この子ども議会で、自分の質問を町長さんに聞いて、とても良い勉強になりました。



ご協力いただいた担任の久米先生



演壇に立ち町長に質問する子ども議員の松田さん。



リハーサルの時に議案審議の体験。仮の「議案」を提案し、提案の趣旨を演壇で説明する橋本さん。



子ども議会終了後、長崎新聞の記者から取材を受ける子ども議員たち。



提出された仮の「議案」に対して、自席より質疑する橋本君。（質疑とは、議案の中身を理解するために提出者に聞くこと）



議事録が完成し、議長が魚屋校長先生に手渡しました。



仮の議案に対する質疑が終了し、討論をする崎元さん。（討論とは、議案に対する自分の意見や賛成反対の意思を述べること）



仮の議案が採決され、起立多数で可決された瞬間。なぜか？全員一致ではありませんでした。



町長さんへの質問するときは、緊張して足が震えていました。

—子ども議会の感想から—

【遠山彩香】



私は、初めて子ども議会をして、町長さんや各課長さん達はすごいなあと思いました。私達の事をよく考えてくださっているなあと思いました。

【崎元愛琴】



私達が知らないところでいろんな意見を出し合って、良い小値賀にしていくんだなあと思いました。学級での話し合いとは、ずい分ちがっていました。

【川原千尋】



子ども議会を通して、議会の仕組みがよく分かりました。議会は、町民の意見をよく聞き、それにあった話し合いをしていることが分かりました。

【橋本龍輝】



ぼくは、議会で決めたことが小値賀を支え、一つの質問に、いろいろ話し合い、決めていることが分かりました。一つ何かを決めるのに、いろんな事を話し合っているんですね。

【伊藤麻莉奈】



私は、子ども議会を経験して、議会の大変さが分かりました。初めて議長を経験して、その大変さが分かりました。難しかったけれど、とても上手にまとめられたので良かったです。

【博多屋 心】



子ども議会を通して、社会の教科書では学習しない、議会のことを、たくさん知る事ができました。実際にやってみて、議員さんたちの大変さを感じました。

【古田憂也】



小値賀の良いところや悪いところが見つけれられて、良かったと思いました。これからは他の事についても見つけてみたいなあと思いました。とても良い経験ができたので良かったです。

【出口聡士】



議長さんのお話で、国の法律の決め方や種類を知って、とてもびっくりしました。町長さんへの質問をするときは、緊張して足がふるえていました。いろいろな今の政治の仕組みがよく分かりました。

【北野唯奈】



小値賀の長所、短所を知ることができて、とっても良い経験になりました。議会は、とっても緊張しました。でも、町長さんの思いを聞くことができたので良かったです。また、やってみたいです。

こども園保育料無料化へ

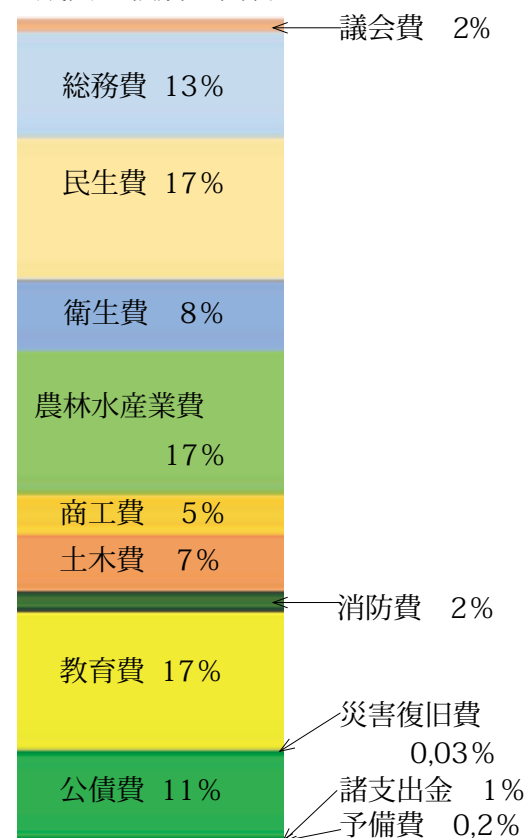
平成 28 年度一般会計予算は 31 億 9400 万円に

補助金申請が必要です。
詳しくは福祉事務所へ

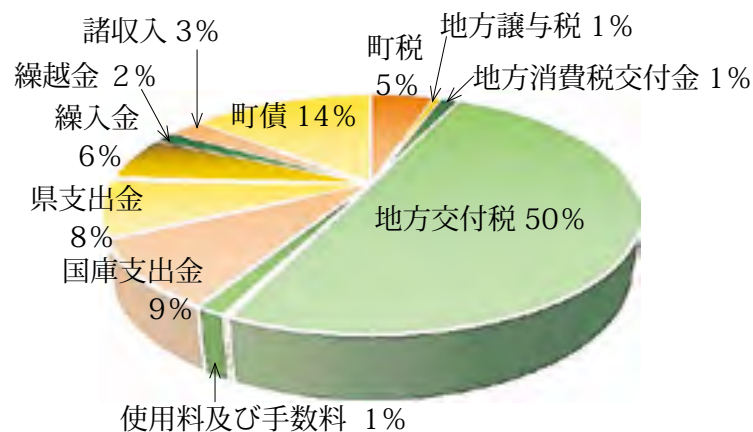
歳入	平成 28 年度当初予算
町税	1 億 5438 万 3000 円
地方譲与税	1960 万 1000 円
利子割交付金	20 万円
配当割交付金	80 万円
株式等譲渡所得割交付金	4 万円
地方消費税交付金	4000 万円
自動車取得税交付金	200 万円
地方特例交付金	5 万円
地方交付税	16 億円
交通安全対策特別交付金	1000 円
使用料及び手数料	4722 万 9000 円
国庫支出金	2 億 8995 万 6000 円
県支出金	2 億 4703 万 5000 円
財産収入	1496 万 9000 円
寄附金	8000 円
繰入金	1 億 9068 万 5000 円
繰越金	4900 万円
諸収入	8076 万 3000 円
町債	4 億 4960 万円
合 計	31 億 9400 万円

歳出	平成 28 年度当初予算	平成 27 年度との差額
議会費	5219 万 9000 円	732 万 3000 円減
総務費	4 億 1037 万円	1778 万 1000 円増
民生費	5 億 4745 万 8000 円	4987 万 4000 円増
衛生費	2 億 6957 万 5000 円	175 万 3000 円減
農林水産業費	5 億 5357 万 1000 円	1 億 3207 万 8000 円増
商工費	1 億 6053 万 1000 円	7412 万 4000 円増
土木費	2 億 2004 万 5000 円	1807 万 9000 円増
消防費	7325 万 4000 円	1870 万 7000 円減
教育費	5 億 3970 万 1000 円	3 億 5957 万 1000 円増
災害復旧費	8000 円	増減なし
公債費	3 億 4130 万 1000 円	488 万 9000 円増
諸支出金	1828 万 7000 円	111 万 3000 円減
予備費	770 万円	50 万円増
合 計	31 億 9400 万円	6 億 2800 万円増

歳出の款別の割合



歳入の款別の割合



新年度予算を可決

提出された案件は平成 28 年度各会計予算案をはじめ補正予算案 8 件、条例改正など全部で 49 件です。予算は、年度に実施する事務・事業にかかる経費及びそれらの必要な財源をどのように調達するかを計画するものです。住民全体の福祉を考えているか、堅実な予算か、その事業が効果的か等々を広く客観的に判断するため、例年どおり定例会の会期中に予算特別委員会を設置し、3 日間にか

たり集中して審議しました。（関連記事は 10 頁）本年の予算は、こども園の保育料の無料化や出生祝い金を第一子から支給するなど少子化対策などに力を入れています。まち・ひと・しごとづくりに取り組む小値賀町の地方創生総合戦略も出上がり、いよいよ実行する段階に入りました。議会としては、今後進捗状況をチェックし、見直し、提案し、さらに実を上げるよう努めていきます。



3 月定例会

平成 28 年 3 月 8 日から 28 日までの会期で、本年第一回定例会が開かれました。実際は 8 日から 18 日までの 11 日間の審議でしたが、今回の定例会は、新年度の予算が中心で、土川委員長のもとに予算特別委員会を設置して集中的に質疑し、全員一致で原案どおり可決しました。

地方創生総合戦略本格始動

出生祝い金を第一子から支給に

今年は、このような事業を行います

本年度の主な事業と予算額

下記の事業以外にも、新規では、西町教員住宅建設事業に 1 億円、野崎島神官屋敷改修工事 7645 万 1000 円、こども医療費 156 万円、放課後児童健全育成事業 350 万円などが予定

されています。

主な継続事業としては、漁業用燃油高騰対策事業 1032 万円、藻場再生事業 377 万 7000 円などを予算化しております。

保育料の支援

**子育て支援世帯保育料
軽減事業費補助金
529 万 8000 円**

**イノシシ侵入防護柵設置事業
1436 万円**

イノシシが侵入することを防ぐため
のワイヤーメッシュ柵を設置

**水産加工推進事業
271 万 2000 円**

安価な魚種や未利用低利用の水産
物を活用した加工品開発の研究

**中型バス購入事業
2000 万円**

老朽化した中型バス車両の更新

**総合運動公園グラウンド
改修工事 1 億 4350 万円**

老朽化により表層部分の砂が
流出しており、改修するもの

**野崎島ビクターセンター
建設工事 4390 万円**

野崎島における来訪者の受
付対策施設工事

**農産物加工場建設事業
1 億 3600 万円**

農産物の加工処理施
設を整備するもの

**街並み景観保全事業
1400 万円**

商店街及び周辺の街路
灯の改修工事



土川重佳委員長

加工場の場所など質疑集中

平成28年度当初予算は、地方創生に向けた総合戦略や各種計画等に基づいた事業が計上されています。本町の基幹産業である第一次産業の発展へ繋げる施策、子育て支援に対応した各種の取り組み、野崎島の観光に向けた取組などの事業が予定されています。

加工場建設については建設場所に

ついて各議員より意見が続出し、旧中学校跡地の今後の利活用も含め、再度、総合的に検討することになりました。

また、人口減少対策やイノシシ対策、藻場対策等も予算化はされていますが、十分な効果が発揮できるか危惧するところもあり、今後、十分な検討が必要だと思われます。

予算特別委員会での主な質疑

【問】 3年目となる結婚対策セミナーの成果は上がっているのか。



【答】 まだ結婚へとという結果が表れないのは残念です。当事者のアプローチの仕方も重要です。意識改革のためには継続も必要かと思っています。

【問】 離島留学制度の調査は3年目だが、関連予算が少ないのではないか。スピード感がない。

【答】 過去2年間の調査研究の成果を基に、住民の意見も踏まえて制度を決め、必要に応じて年度内の補正も視野に入れます。

【問】 買い換える中型バスの活用は？



北松西高等学校校舎

【答】 運休日に周遊バスを運行する等、観光への活用も考えています。

【問】 空き家バンクの充実と積極的な定住促進事業の展開とは？

【答】 まち・ひと・しごとで人の流れによる移住促進を考えています。空き家バンクなどの取り組みを促進していきたいと考えています。



予算特別委員会、真摯に質疑応答

【問】 農産物加工場建設についての内容は？

【答】 農山漁村活性化プロジェクト支援交付金で実施する事業で、落花生を中心にした農産物の加工処理施設になります。木造平屋で加工場、原料の集出荷作業場、選別作業場を建設します。干場としてのビニールハウスを建てます。

【問】 加工場の場所は？

【答】 旧小値賀中学校跡地で決定しています。



【問】 旧小値賀中学校跡地は、島の中央部に位置し、その利用価値は高い。安易に決めたのではないか。選定委員会など、議会のメンバーも加わって決めたのか。

【答】 執行部の決定です。他の候補地も2、3

か所検討しましたが、十分な広さが無く、中学校跡地が良いと判断しました。

【問】 大きな事業であり、あの土地は今後予定される診療所なども考えられ、加工場にはもった

いない。検討委員会などを開催し広く意見を聴くことも必要ではないか。

【答】 場所については、内部で改めて検討してみます。

効率的に執行し

大きな効果が上がるよう期待

本会議における土川委員長の報告抜粋

【問】 野崎島のビジターセンター建設工事についての内容は？

【答】 木造平屋の10メー

トル四角。情報発信のスペース、販売スペース、管理人の受付、待合所トイレなどを予定しています。

討論

反対討論 なし
賛成討論 一名

平成28年度の予算総額は31億9400万円と昨年の当初予算額25億6600万円から24、5%増加しているものの歳入の指標である自主財源は17、1%であり、昨年の14、9%より改善しているし、経常収支比率も90%を超えることもなく、昨年より大幅に増額したことを勘案しても極めて健全な予算配分であると考えます。よって、この予算案に賛成します。

宮崎良保



子育て支援のための政策です 条例制定・改正

関連の条例を整備しました

改正

小値賀町立小値賀こども園設置条例

(保育料軽減の補助金と併せると、
ほぼ全員が実質的に無料になります。)

子ども・子育て対策推進の観点から利用者負担額の一部を見直すもの。各種の負担額を設定し、保育料に関しては、同時入園中の年長者の子どもの順に第二子は半額、第三子以降は0円とした。また、これを機会に、個人負担部分も、子育て世帯保育料軽減事業費補助金を申請し支給をうけることで、実質的に保育料が無料になるよう本年から予算措置を講じる。



小値賀こども園の卒園式にて

新規

小値賀町放課後児童健全育成事業の設備 及び運営に関する基準を定める条例

子ども・子育て関連3法の成立及び児童福祉法の改正により、条例を制定するもの。

保護者が労働等により昼間家庭にいない場合などに、設備を有し、子どもを受け入れ、運営する事業者に対して基準を定めるもの。



改正

小値賀町安心出産支援補助金 支給条例

子どもを安心して出産してもらうために、補助金の補助率を上げるもの。出産にかかる費用の3分の2から4分の3に増額するもの。



改正

小値賀町出生祝金支給条例

第3子以降の子どもの出生に関し支給していた祝金を、第一子からに拡充するもの。第一子は10万円、第二子は20万円を出産時に支給する。

平成28年度 特別会計予算

本年度の特別会計の総額は、18億295万円となっております。国民健康保険事業特別会計は昨年より4880万円の増。財政調整交付金の算定方法の変化により、診療所への繰出し分の増によるものです。

特別会計名	平成28年度予算	前年度予算比較	備考
国民健康保険事業特別会計	5億9820万円	4880万円増額	診療所繰出し分が増加
介護保険事業特別会計	4億5900万円	2900万円増額	給付費が増加の見込み
後期高齢者医療事業特別会計	4305万円	235万円減額	対象者の減少
渡船事業特別会計	5920万円	120万円増額	航路運賃収入増の傾向
簡易水道事業特別会計	8070万円	260万円増額	活性炭取替工事等予定
下水道事業特別会計	1億4880万円	1990万円減額	設備の長寿命化計画中
国民健康保険診療所特別会計	4億1400万円	500万円減額	建て替えに向けた検討
合計	18億295万円	5435万円増額	

予算特別委員会での主な質疑

国民健康保険事業

【問】特定健診未受診者医療情報提供事業の内容は？

【答】医療機関から特定健診の未受診者の医療情報を提供してもらうことで、健診データの把握と実施率の向上につなげる事業です。

介護保険事業

【問】介護サービス等諸費の増額の算定根拠は？

【答】特別養護老人ホームの20増床分とグループホームおぢかの家が通所介護を予定していることによる介護サービス給付費の増加分を見積もったものです。

国民健康保険診療所

【問】診療所建て替えに向けた今後の予定は？

【答】平成28年度は、建て替えの場所、規模、方

向性などについて具体的に協議していく予定です。



条例関連・その他

平成 27 年度 一般会計補正予算（第 4 号）

歳入歳出それぞれ 3 億 8480 万円を追加し、
予算総額を 32 億 2480 万円に

（主な歳入補正）			（主な歳出補正）		
地方交付税	2 億 1390 万円	増額	総務費	2 億 20 万円	増額
町 債	1 億 7320 万円	増額	民生費	2 億 5849 万円	増額
			衛生費	3305 万円	減額
			農林水産業費	1798 万円	減額
			商工費	924 万円	減額
			土木費	958 万円	減額

特別養護老人ホーム養寿園の増築工事



特別養護老人ホーム養寿園の増築工事に
2 億 6 0 0 0 万円の補助

平成 27 年度 特別会計補正予算

特 別 会 計 名	今回の補正額	補正後の額
国民健康保険事業特別会計（第 2 号）	6809 万円 増額	6 億 2132 万円
介護保険事業特別会計（第 2 号）	4020 万円 減額	4 億 1915 万円
後期高齢者医療事業特別会計（第 1 号）	79 万円 減額	4460 万円
簡易水道事業特別会計（第 2 号）	0 円	8340 万円
下水道事業特別会計（第 3 号）	400 万円 減額	1 億 6769 万円
渡船事業特別会計（第 3 号）	50 万円 増額	1 億 7299 万円
国民健康保険診療所特別会計（第 2 号）	1552 万円 減額	4 億 417 万円

新規

小値賀町空家等対策の推進に関する条例

空家等対策の推進に関する特別措置法が制定されたことを
受けて、本町独自で制定していた「空き家等の適正管理に関
する条例」を廃止し、法律にあわせて新たに制定するもの。



改正

小値賀町人工透析患者通院費補助金
支給条例

人工透析患者の通院に要する費用の補助金の
補助率を上げるもの。費用の 3 分の 2 の補助率
から 4 分の 3 へ。



新規

小値賀町文化的景観
保護推進条例

文化的景観を保護するた
め、特に必要と認められる
文化的構成要素の復旧修理
などの経費の一部を補助す
るもの。
保護に関する重要事項の
審査のために文化的景観保
護推進審議会を設置する。
国の文化財関係補助要綱
の一部改正に伴い新たに制
定。



旧小田家の石垣塀

新規

小値賀町中小企業振興基本条例

小規模企業の振興を推進する「小規模企業振興基本法」
が、平成 26 年に制定された。同法第 7 条に「地方公共
団体の責務」が規定され、支援のため国や地方公共団体
等との連携及び協力をしていく町としての基本理念を定
めるもの。



その他

その他の条例は、教育
長の報酬見直しや職員の
人事院の勧告に基づく給
与等の改正、国の法律に
基づき行う文言の改正な
どです。
小値賀町が所有する施
設の指定管理者の指定を
原案どおり可決しました。
建造中の「はまゆう」
の乗降タラップなどの追
加工事分の工事請負金額
の増額に関する工事請負
契約の変更を可決しまし
た。これで建造費総額は
1 億 1 167 万 9 020
円になりました。
平成 28 年度から 32 年度
までの 5 年間の過疎地域
自立促進計画が策定され
原案どおり可決しまし
た。



いっぱんしつもん

3月定例会においては4人の議員が登壇し、町長、教育長に対して、産業、福祉、教育問題に対する政治姿勢を質しました。



思い出の壁画の修復を

関係者と協議し必要な対策を講じます

【問】松屋治郎議員
養寿園前の殺風景で冷たいコンクリートの堤防に、お年寄りの心の安らぎになる壁画がある。昭和63年頃に「のびの

び少年デー」が設けられ、その一環として小学生と高齢者・熟年大学との交流を行い、あの華やかな壁画が完成した。当時養寿園に入所して

いたお年寄りの方々は目頭を押さえながらその絵を眺めていたそう。壁画に込められた子どもとお年寄りの優しさと思いやり、また、関係者の支援、協力、絆をいつまでも大切に心に残してもらえるよう、壁画の復元、また、絵を描き足す考えはないか伺う。



養寿園前の防波堤の壁画

じています。

【答】吉元勝信教育長
壁画には子どもたちの優しさ、お年寄りに対する思いやりなどが表現されていて、そういう気持ちには大事にしなければと思います。

【答】西 浩三町長
当時の子どもの気持ちや考えを何とか復元したいと思います。この壁画は学校の野外授業の一環として描かれた経緯があり、教育委員会、学校ともよく相談して判断したいと思っています。また、新しく絵を描いていただき、養寿園の方にはもちろん、一般住民にも愛される海中公園として修復するのは可能と感



養寿園前の防波堤に描かれた壁画

担い手公社の経営は

物産振興の一元化を図っていきます

【問】浦 英明議員
あわび館の管理運営を担い手公社にした理由と今後の展開を伺う。

【答】西 浩三町長
地元農水産物の産地直

送施設という、あわび館の機能を最大限活用するために、平成27年度からあわび館の管理運営を担い手公社に移管し、物産振興の一元化を図っているところ。落花生等の今後の展望

ですけど、新たにショウガとか油製品、醤油製品等の商品開発を予定しているようですので今度も、支援をしていきたいと考えています。

【問】浦 議員
担い手公社の補助金の算出の根拠と使途について伺う。



財団法人担い手公社の研修棟

【答】西 町長
公社の農業研修事業にかかる費用から収入を差し引いた金額を補助金として交付しております。使途につきましては、落花生種苗費とか販売促進のための旅費、それから原材料費等に充てられており、公社運営費助成については、人件費や事務所の維持管理費用に充てられております。

【問】浦 議員
農産物を製品化するまでの施設として農産物加工場を計画しているようですが、建設場所、完成時期について伺う。

【答】西 町長
旧中学校跡地を予定しております。

完成後は担い手公社に管理運営を委託する計画にしており29年の3月までには完成できるように進めてまいります。

【問】浦 議員
本町の農業経営について、今後キャトルステーションの利活用はどのようになっているのか、また牛温恵の補助等は考え

【答】西 町長
牛市場が平戸の田平に



統合される場合には、田平のキャトルステーションを利用する必要性があり、これから研究する必要があるかと思っております。

牛温恵ですが、計画的な分娩とか発情時期を把握できるのが最大のメリットであり、牛舎内で運用した実績もあり、有効だと聞いております。今後、和牛部会等からの要望があれば導入の支援を検討してまいりたいと考えております。



いっぱんしつもん

教育行政のありようを問う

心身ともに健全な児童生徒を育てます

【問】 横山弘蔵議員
新教育長としての抱負を伺う。

のある「おぢかつ子」を育てる等の自由な発想を
してはいかがか。

を伺う。

【答】 吉元勝信教育長

教育委員長と教育長が一本化された新しい教育委員会制度の下、教育の政治的中立性、継続性及び安定性を基本とし、県や町との連携を強化しながら小中高一貫教育を推進していきます。

【答】 吉元教育長

人と人とのつながり、思いやり、優しさ等の小値賀の良いところは継承してほしいし、当然、これを授業の中に盛り込んでいきます。

【問】 横山議員
新たに設置された「総合教育会議」や「教育振興基本計画」や「教育大綱」について、話し合ったか。

【答】 吉元教育長
高校がなくなると経済的にも精神的にも親の負担は大きく、また、これからの小値賀を担う若者が流出してしまうことは大きな問題です。

平成32年度までの存続は見込まれ安心していましたがその後のことはわからず、早い対応が必要だと思っています。
離島留学制度は、町としての受け入れ体制や基盤作り、町民の理解、そして何より小値賀の特長や魅力、小値賀らしさをいかにして発信し、来ていただくかが、とても重要だと考えています。

心身ともに健全な児童生徒を小値賀で育てるといふ大きな権限と責任を持つことになり、日々研鑽と努力が必要だと感じています。

一方で、狭い島ゆえに人との関係が密になりすぎ、いざ都会に出た時に不安が大きいといった面もあり、このようなことも授業に盛り込んでいきたいと思っています。

【答】 吉元教育長
11月の第一回総合教育会議で町としての教育の方向性を示し、各教育委員からの意見も出され、有意義な会議でした。

町長とも連絡を密にし、また、地域の方々の参画も図っていこうと考えています。

【問】 横山議員
教育委員会制度の枠組みを少しはずれたもっと個性的な教育というものも必要ではないか。都会では真似できない野性味

教育行政は幅広く、日々の業務をこなすのが精いっぱいという現実もあります。勉強しながら少しずつ自分の形で進めて行こうと思っています。

【問】 横山議員
高校の存続と離島留学制度についての考え方を



孤独死ゼロを目指して対策を

情報提供により普及に努めます

【問】 末永一朗議員

本町は高齢化率45.1%、独居老人は330名余りである。

高齢化が進む中、独居ベルなどの施策をしているが、残念なことに先日も一人の方が亡くなり、亡くなって2日目に発見されている。

だれにも看取られず一人この世を去るのは悲しいことである。

民生委員の活動はもちろん、福祉関係の方、地域の方達の協力も得ながら孤独死を防ぐ施策をできないのか、また、民生委員の定数を増やすことは可能か伺う。



策として独居ベル設置事業を実施していますが、現在18名の方が利用しています。

280世帯の内、18名は少ないと思いますので原因を早急に調査します。ほかに実施していることは配食サービス時に配達員による安否確認、民生委員の方々による訪問など地道な活動を行っています。

【答】 西 浩三町長
高齢者が直面しているのが社会からの孤立や孤独死の問題だと思います。一人暮らしの高齢者対

しかし夜間・休日などに事故が発生した場合を考え、24時間対応の態勢づくりが急務と考えています。



この緊急通報システム導入については本町にその事業が合うのかどうか検討しています。とに

かく近隣住民や町内会などによる地域コミュニケーション作り、郵便局などの事業者協力をお願いすることなど、福祉事務所でもいろいろ考えているところです。

小値賀町は14名を配置しています。
いろんな不足・不備を解消するには「よろず相談所」みたいな部署を設けてはどうかと考えています。

小値賀町の諸課題に取り組んでいます



松屋治郎委員長

産業建設常任委員会報告

平成27年5月からの新しいメンバー6名で活動を開始しました。

○所管の公共施設16施設を視察しました。

焼却炉の延命を図るために生ゴミをゼロに近づける取り組みの必要性を協議しました。

○放置船などの増加に伴う漁港管理状況と今後の対策について協議。長年の懸案であった藻場再生において、昨年まで設置していた特別委員会を解散し、本委員会に移行したため、産業振興課にも出席を求め、これまでの取組と今後の方針について



平戸市瀬戸市場

産・商業関係先を視察。加工関係においては新しいタイプの施設により安心・安全を売りに販路の拡大を目指していること、畜産関係では、畜産事業の今後の問題点を洗出して、省力化、合理化に取組む農家を訪問し話しを伺いました。

○今後の農家数の減少をなんとか食止め、活力ある農業経営の参考となりました。

○商業施設では、田平町の瀬戸市場を訪問。売場・魚の処理場・食



労働の省力化を目指している畜産農家を視察

堂・宅配所・観光案内所・公衆トイレ・展望所や駐車場を完備するなどの運営の仕方を研究しました。

平戸製品にこだわっての販売、また、魚は目の前で下処理していることや各部会が集客のためのイベントを企画しているなど、その活気も含めて、今後の本町の観光のあり方を考える貴重な材料となりました。

今後は、視察研修で学んできた事を参考として本町産業の活性化のあり方を協議して、活動していきます。

振興策や活性化策に繋がる活動を

協議しました。

○産業の振興のため、付加価値をつけることにより収入増を図るために6次産業化を促進することやスキューバダイビングなどの海洋レジャーへの取組の必要

性について関係機関との協議の場を設け、理解を得る努力をすることと意見の共有を図りました。

○去る2月14日から2泊3日間、田平・松浦・佐世保地区の水産・畜

総務文教厚生常任委員会報告



末永一朗委員長

観光振興と自然の保護との

両立をどのように図るか

野崎島の自然保護や交通アクセスほか、世界遺産登録の件もあって観光客が大幅に増える中、観光客のマナーが問題になっています。

島の管理条例や自然保護条例の設置の必要性が協議の主題になりました。これに伴い、各委員の問題の共有化のため、先進地視察の実施をしまし

た。

研修先は、法定外目的税「環境協力税」を設置した沖縄県島尻郡伊是名村を選定。

同じく地域の文化などを有効に観光に活かすため海岸線の日常の管理を行うことを目的として「海岸管理条例」を設置した沖縄県国頭郡恩納村を選定しました。

実施日は2月1日から2泊3日間。

伊是名村では、法定外目的税の必要性や経緯と問題点などについて研修しました。

当時ハブのいない島として多くのキャンプ客が増加していましたが、食材等を沖縄本島から持ち込むなど、島内での消費額が上がらず、観光施設

の維持や環境美化のために使う財源の確保を目的とし、県や国と協議し島の内外にアンケート等を実施して総務省と事前協議し、入域する観光客だけの課税は税の公平を欠くとの指摘を受け、村人も含めた「環境協力税」として改正し、賛否両論あった村民の意見も金額を100円とすることで理解を受けたとのこと。

恩納村では、沖縄のリゾートホテルの増加に伴い、村民との問題が発生した事からリゾート開発の制約をなすための「環境保全条例」を設置しており、本町においても将来、島外資本による開発の制約を予測した場合の参考となりました。

また、周辺の文化等を観光に活かすため、日常的な海岸線の管理を定め



新船の村営のフェリー伊是名丸

た「海岸管理条例」の設置については、野崎島を含む大小17の島々を持つ本町の環境維持において必要な条例であると感じました。

世界遺産登録が延期になったとは言え、増加する観光客のあり方などを各法律の関連性も含めて、本町の観光の方策と自然環境保全の問題を両立し、町の発展のため貢献したいと思います。

「おぢか議会だより」が表彰されました

第30回町村議会広報全国コンクール 【奨励賞】



全国町村議会議長会は、平成27年度、第30回町村議会広報全国コンクールを開催し、上位入賞町村議会を選奨することを決定しました。今回は第30回という節目の開催となり、議会広報編集委員等の意欲を高め、議会広報紙編集団体並びに広報コンクール参加団体の拡大に資するための記念コンクールとし、表彰枠を拡大して実施されました。

262町村議会からの応募がある中、最優秀賞の山形県川西町議会を含む入選10紙のほか表紙写真賞4紙、奨励賞12紙が選考されました。

小値賀町議会は初めてコンクールに出品して、全国12紙が受賞した奨励賞の中に入ることができました。このことは、これまで編集してきたことが全国で認められることとなり、今後の編集に大きな励みになります。

我々議員のみならず、町民の皆様のご協力の賜物と感謝いたします。今度は「優秀賞」を目指して、町民にわかりやすい紙面作りに尚一層努力してまいります。

今後とも 皆様の御協力をお願いいたします。

広報常任委員会

お知らせ

○次の定例会は、6月です。議会傍聴に出かけください。

○町民がわかりやすい紙面作りに努力しています。これからも町民の皆さんが紙面へ登場する機会を設けていきたいと思っています。

ご意見や面白い話、写真等をお持ちの方は是非議会事務局へお寄せ下さい。

○「議会だより」は各方面へ情報発信しています。インターネットでは「ちいき本棚」で検索または、小値賀町のホームページにリンクしていますのでご覧ください。

○議会独自で日頃の活動をフェイスブックを使って発信しています。「フェイスブック 小値賀町議会」で検索してください。

国境離島新法制定に向けて 陳情活動

長崎県の国境離島を有する自治体は、住民が安心安全に生活できる地域としてだけではなく、領域や排他的経済水域等の保全をはじめ、海洋資源の利用、多様な文化の継承、自然環境の保全など重要な国家的役割を担っています。

特に、日本の外堀を守っている多くの有人国境離島地域においては、地域住民と共に離島振興策を進めていますが、国境監視や海洋資源の管理、航路航空路確保対策、観光基盤の確立、

人口定住対策など地元自治体だけで解決できない困難な課題も山積しています。

そのような中、国境離島活性化推進特別委員会は、他の市、町の離島を抱える自治体と共に国境離島が、我が国において重要な役割を担っていることの特殊性及び重要性を鑑み、さらに「離島振興法」附則第6条の規定を踏まえ早期に国境離島新法を制定してもらうように活動を続けています。

議員派遣報告

国境離島活性化推進特別委員会

委員長 横山弘蔵



2月24日に山場に差し掛かった国境離島新法案の国会提出に向けた陳情活動を首相官邸及び関係国会議員に対して行いました。

谷川代議士を筆頭に全国の国境離島を有する北海道から九州の全国離島振興市町村議会議長会、関係市町村長など、総勢43名が集まり、本町からは西町長、立石議長及び伊藤期成会長が参加しま

した。

菅内閣官房長官、高木民主党国対委員長などをはじめ、与野党含めて20名以上の国会議員の方々に早期制定について要望しました。

そのような中、谷川代議士より、「議員提案として提出するため、国会中の制定を目指して与野党の協議も進めている」との説明があり、期待が膨らんでいるところ

谷川代議士の余談によると報道関係がなかなかこの法案にすっかり飛びついてきていないなど、今の離島が置かれている現状が大変厳しいところにあるとも話し、なかなか離島の抱える問題が理解されていないと憂慮していたことを付け加えて報告とします。



本年も4月20日過ぎに出前議会を実施します

小値賀町議会は、「能動的に行動する議会」、「町民と共に歩む議会」、「政策を提案する議会」を目指して、議会改革に取り組んでいるところです。

その一環として毎年4月下旬に出前議会（議会報告会）を開いていますが、今年も4月20日過ぎに17地区で実施したいと思っております。これから、地区の会長さんと日程を調整する予定です。

日程が決まり次第ご案内しますので、ご参加くださいますようお願い申し上げます。

共によりよい町を築くため、

皆さんとの意見交換を

【開催の趣旨】

議会が町民に信頼され民主的なまちづくりを実現し、効率的な行財政運営を図るには議会と町民との連携が重要です。

また、地方分権の推進により、自己決定と自己責任が拡大するなかで、まちづくり政策決定過程への町民参加が極めて重要となっています。

小値賀町議会では、議

る発展に資する趣旨で開催します。

28年度の予算も決まり、本年の町としての事業内容も決まりましたので、3月定例会の報告もさせていただきたいと思っています。

また、皆様方のご意見やご要望なども聴かせていただき意見交換ができればと思っております。どうぞよろしくお願い申し上げます。

編集後記

議員になる前は議会だよりを目を通すことはあまり（ほとんど？）なかったのですが、議員になり、運良く（悪く？）広報委員になって編集に携わるようになると、その労力と苦勞を無駄にしないためにも皆様に読んでいただけるような紙面作りをすることが大切だと感じます。

どうしても堅苦しい内容や難しい言葉、あまりピンとこないような数字が出てきますが、でも実は皆様の生活に直接かわる大事なことです。特に今回の定例会は平成28年度の予算案の審議が中心でした。なるべく早く、わかりやすく、正確にお伝えできるよう、日々精進、とまではいきませんが、たゆまぬ努力をしたいと思います。

今田光弘



昨年の出前議会の様子

